

講義コード	1052710001
講義名称	教育心理学 01<春>
科目英文名	Educational Psychology
開講責任部署	共通教育機構（資格課程）
代表ナンバリングコード	0EDU2400
単位数	2.0
時間割	春学期: 木曜日 5 時限
講義開講時期	春学期

## 担当教員

氏名
小松 佐穂子

授業形態	講義	アクティブラーニング
------	----	------------

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。		
	コメントシート	小レポート/小テスト	体験学習(実習、実験)

講義・演習概要	教育心理学の主要テーマである幼児・児童および生徒の心身の発達と学習の過程について、はじめに、発達に関する教育心理学理論や研究成果を概観する。次に、学習に関する理論や研究成果を概観し、各発達段階の心理的特性に対応した主体的学習を支える指導上の基礎理念について、学校教育との関連に基づき論じる。そのうえで、教師に求められる深い見識とそこから導き出される適切な教育的指導および支援の在り方とはどのようなものを考察する。
学習（到達）目標	<p>【テーマ】</p> <p>幼児・児童・生徒の心身の発達および学習の過程</p> <p>【授業の到達目標】</p> <p>(1) 幼児・児童・生徒の心身の発達過程の様相と特徴について、発達概念・発達段階・発達過程等の教育心理学理論やその研究成果を学んで基礎的知識を習得し、定型発達および障害に関する具体的な内容を理解している。</p> <p>(2) 幼児・児童・生徒の学習過程の様相と特徴について、学習概念・動機づけ・授業形態・学習指導・教育評価等の教育心理学理論やその研究成果を学んで基礎的知識を習得し、各発達段階の心理的特性に対応した主体的学習を支える指導上の基礎理念を理解している。</p>

## 講義・演習計画

回	内容
第1回	教育心理学の授業を始める前に（授業の概要・課題・到達目標）
第2回	発達の基礎概念
第3回	発達段階理論
第4回	乳幼児期における心身の発達
第5回	児童期・思春期における心身の発達
第6回	青年期における心身の発達
第7回	適応と障害の理解
第8回	学習の基礎理論
第9回	学習と記憶
第10回	学習の動機づけと学習意欲
第11回	授業形態と学習指導
第12回	学級集団の理解
第13回	教育評価の方法
第14回	教室の内外での「主体的・対話的で深い学び」
第15回	まとめ(幼児・児童・生徒の心身発達の過程およびその特性に応じた学習指導の在り方)

## 成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	0%
レポート	80%
その他	20%

成績評価の方法（コメント）	①授業ごとにその内容に関するコメントの提出を求め(M-Portを通じウェブ提出)、主体的・積極的な授業への参加の程度を評価する(20%)。 ②加えて、学期の中間点でレポート課題を指示し、M-Portを通じファイル提出を求める(40%)。 ③および、学期末にレポート課題を指示し、M-Portを通じファイル提出を求める(40%)。 ④それらの結果に基づき、修得した知識および論理的な思考力・表現力について総合的に評価を行う。
---------------	--

## テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.	スライド（パワーポイント）、インターネット、印刷物などを通じて授業に必要な資料を提供する。					

参考文献	<ul style="list-style-type: none"><li>・鎌原雅彦・竹綱誠一郎（著） 『やさしい教育心理学』（第5版） 有斐閣</li><li>・子安増生・田中俊也・南風原朝和・伊東裕司（著） 『教育心理学』（第3版） 有斐閣</li><li>・多鹿秀継（著） 『教育心理学（第2版）一より充実した学びのために』 サイエンス社</li><li>・文部科学省 『中学校学習指導要領』（2017年3月告示）</li><li>・文部科学省 『高等学校学習指導要領』（2018年3月告示）</li></ul>
事前および事後学習の指示	・授業情報（授業課題、レポート課題など）は、M-Port を通じて提供する。授業の前後にそれらの情報を確認し、課題提出および予習・復習・発展学習のために役立てること。
学習時間	事前学習時間：30時間 事後学習時間：30時間
キーワード	発達理論、発達段階、発達過程、学習理論、学習過程、学習指導、教育評価